

⇒ ルー・ヴリエ・ミース・ファン・デル・ローエ =
Less is More

「Less is More」

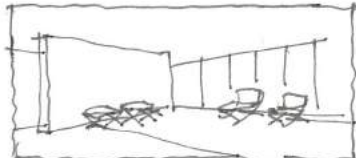
椅子は軽く
丈夫で心地よく
なりたい

「椅子は、非常に難しいオブジェクトである。デザインを
しようとした人々から誰でもこのことは知っている。
そこには無限の可能性と多くの問題があり、良い
椅子をつくるより、高層ビルをデザインするほうが、多分
やさしいのではあるまいか...」
ミース談。

LESS

MORE

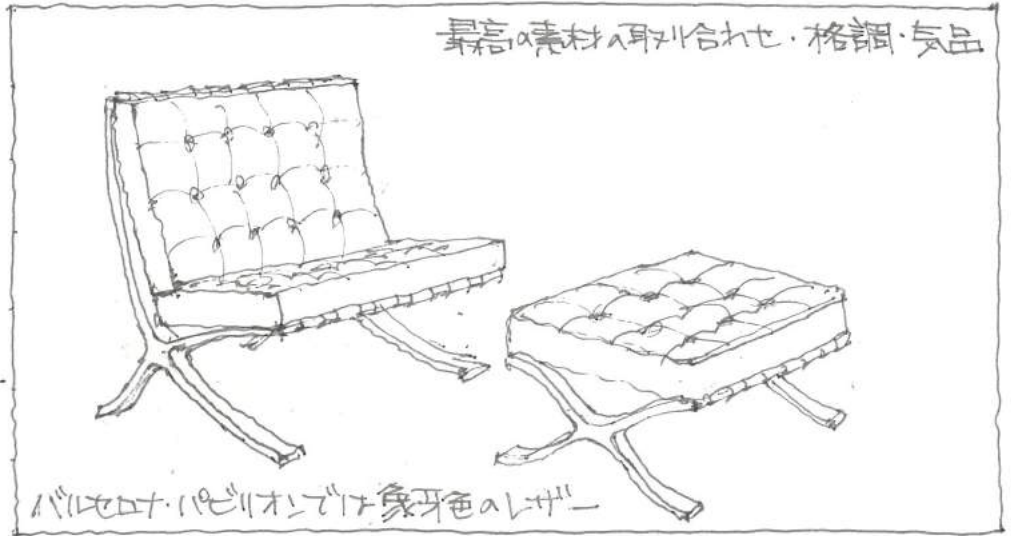
- 1908 ルー・ヴァレンス事務所
- 1911 独立
- 1926 ドイツ連盟副専長
- 1930 バウハウス校長
- 1938 渡米
- イリノイ工科大学
建築学部長



バルセロナ・パビリオン 1929

1929年(世界恐慌の年)にバルセロナで
開催された万国博覧会のドイツ館と
設計された。が、オープニングセレモニーに
間に合えなかった。
トーチ・オーキス・鉄・ガラス・ゴシック!!

- 主な建築 ドイツ時代
- 1927 ヴァイセンホーフ・ツトリック
 - 1929 バルセロナ・パビリオン
 - 1930 トーゲントハット邸
- アメリカ時代
- 1950 フェリス・ハウス邸
 - 1951 レイヴン・ストライプ・ハウス
 - 1958 シー・グラムビル
 - 1967 IBMビル
 - 1968 バルビ新建築事務所



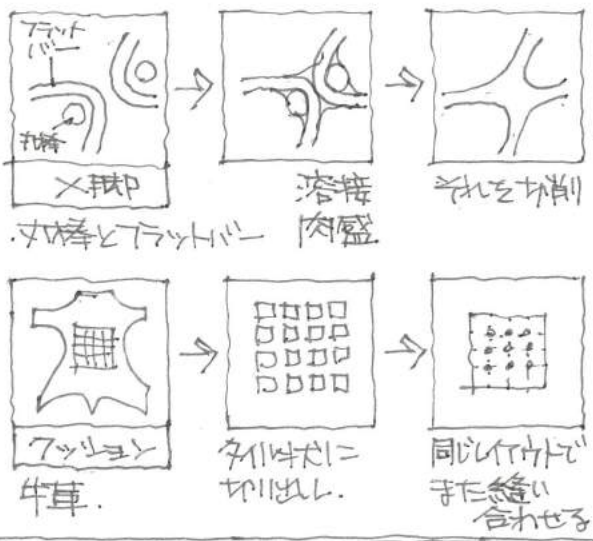
最高の素材を取り合わせ、格調・気品

バルセロナ・パビリオンでは象牙色のレザー

非常にせいたくな造作

→現在のオフィシャルは
Knoll製に。

オープニングセレモニーに間に合
わなかった。結局スペイン国王には
座してもらえなかった。



1929年の発表から
構造の貴と左右
脚の接合方法や
クッションの留め方
など、変化が大きい
1948年にKnoll社
が、ミースの監修の下
復刻生産し、この
デザインが「真正」

古代エジプトやギリシアの壁画の
者が、権力の象徴として使った
X脚の折れ畳み椅子がモダン
の身体性
の象徴性
の時代性
の空間性

全て具現化した
モダンアキター
の頂き。

工業化の流れの中の
モダンアキターの象徴ともいえるバルセロナが、ほぼ全工程
手取りのハンドメイド。職人の手技的な外見のワークの
セーコックが、ほぼ全工程機械加工の皮が...

バルセロナの椅子 / 1929年デザイン VII
06

20220226
20220404
20220524
7/24/24